

| 一次研究用フォーム | | データ記入欄 | |
|------------|---------------|--|---|
| 基本情報 | 対象疾患 | 皮膚がん | |
| | タイプ | 医学情報 | |
| タイトル情報 | 論文の英語タイトル | Skin cancer screening in Okinawa, Japan | |
| | 論文の日本語タイトル | | |
| 診療ガイドライン情報 | ガイドラインでの引用有無 | 1.有り 2.無し (1) | |
| | ガイドライン上での目次名称 | SCC-CQ1-6 | |
| 書誌情報 | エビデンスのレベル分類 | <ul style="list-style-type: none"> ・ システマティック・レビュー/メタアナリシス ・ 1つ以上のランダム化比較試験による ・ 非ランダム化比較試験による ・ 分析疫学的研究(コホート研究や症例対照研究による) ・ 記述研究(症例報告やケースシリーズによる) ・ 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV) | |
| | Pubmed ID | 10215187 | |
| | 医中誌 ID | | |
| | 雑誌名 | J Dermatol Sci | |
| | 雑誌 ID | | |
| | 巻 | 19 | |
| | 号 | | |
| | ページ | 161-165 | |
| | ISSN ナンバー | 0923-1811 | |
| | 雑誌分野 | 1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1) | |
| | 原本言語 | 1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1) | |
| | 発行年月 | | |
| | 著者情報 | | 氏名 |
| 筆頭著者 | | Nagano, T. | Department of Dermatology, Kobe University School of Medicine, Japan. |
| その他著者 1 | | Ueda, M. | |
| その他著者 2 | | Suzuki, T. | |
| その他著者 3 | | Naruse, K. | |
| その他著者 4 | | Nakamura, T. | |
| その他著者 5 | | Taguchi, M | |
| その他著者 6 | | Araki, K. | |
| その他著者 7 | | Nakagawa, K. | |
| その他著者 8 | | Nagai, H. | |
| その他著者 9 | | Hayashi, K. | |
| その他著者 10 | | Watanabe, S. Ichihashi, M. | |

| | | | |
|------------|--|---|----------------------|
| 一次研究の 8 項目 | 目的 | 沖縄伊江島、兵庫県加西市における日光角化症の年間有病数を調べ、両者を比較する。 | |
| | 研究デザイン | コホート研究 | |
| | セッティング | 沖縄伊江島、兵庫県加西市での一般がん検診場 | |
| | 対象者 | 沖縄伊江島、兵庫県加西市での一般がん検診者 | |
| | 対象者情報（国籍） | 1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず（ 1 ） | |
| | 対象者情報（性別） | 1.男性 2.女性 3.男女区別せず（ 3 ） | |
| | 対象者情報（年齢） | 1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず（ 15 ） | |
| | 介入（要因曝露） | 沖縄伊江島、兵庫県加西市の緯度の違い | |
| | エンドポイント（アウトカム） | エンドポイント | 区分 |
| | 1 | 皮膚がん有病率 | 1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ） |
| | 2 | | 1.主要 2.副次 3.その他（ ） |
| | 3 | | 1.主要 2.副次 3.その他（ ） |
| | 4 | | 1.主要 2.副次 3.その他（ ） |
| | 5 | | 1.主要 2.副次 3.その他（ ） |
| | 6 | | 1.主要 2.副次 3.その他（ ） |
| | 7 | | 1.主要 2.副次 3.その他（ ） |
| | 8 | | 1.主要 2.副次 3.その他（ ） |
| 9 | | 1.主要 2.副次 3.その他（ ） | |
| 10 | | 1.主要 2.副次 3.その他（ ） | |
| 主な結果 | 1993-1996 までの 4 年間調査を行い、兵庫県のデータと比較した。年間有病数は、人口 10 万人当たり、1159.4（1993）, 572.8（1994）, 1014.3（1995）, 988.9（1996）で、兵庫県加西市と比較した年齢調整後の年間有病数の OR は、2.79（1993）, 1.38（1994）, 2.45（1995）, 2.39（1996）であった。 | | |
| 結論 | 緯度の低い方が日光角化症の発生が多い。 | | |
| 備考 | | | |
| レビューワーコメント | レビューワー氏名 | 宇原 久 | |

| | | |
|--|------------|---|
| | レビューワーコメント | エビデンスのレベル分類（ IV ） 日本人に関する数少ない緯度と SCC の有病数の関係を調べた貴重なデータである。ただし、比較した集団における生活習慣、職業、スキンタイプなどの差が調整されていない点が問題としてこのる。 |
|--|------------|---|